

## 緑のカーテン作りませんか？



### ゴーヤの苗を育てて 地球温暖化防止へ

もりやまエコパーク交流拠点施設でゴーヤの苗の無料配布が行われ、約30人が参加しました。県地球温暖化防止活動推進員を講師に参加者は、ゴーヤの栽培方法やおいしい食べ方、地球温暖化防止につながる節電の効果などについて学んだ後、真夏の暑さとグリーンカーテンの涼しい風景に思いをはせながら苗を受け取っていました。

〔4月29日〕 もりやまエコパーク

## 地域交流センターななまがり 開館10周年



### 10周年を機に居場所を再開 買い物やおしゃべりに笑顔咲く

地域住民の居場所づくりを目的として石田自治会館に併設した「地域交流センターななまがり」が開館10周年を迎え、記念イベントを開催するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による休館を解いて居場所づくりを再開しました。久しぶりに買い物やおしゃべりを楽しむ地域住民でにぎわい、笑顔と笑い声であふれていました。

〔4月23日〕 ななまがり

## 小浜町すこやかサロン



### 健やかな毎日を願って 祭りの湯立て神楽を見学

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止となっていた「小浜町すこやかサロン」が、今年度から野外開催に限定して再開しました。この日は、天満宮の境内で童謡を楽しみ、ラジオ体操で運動をした後、春祭りの口開けの合図となる「祭りの湯立て神楽」を見学。参加者は健やかな毎日を祈りながら、神楽に見入っていました。

〔5月1日〕 天満宮

## ボーイスカウトが3年ぶりビワイチ



### 3年ぶりのビワイチ 助け合って完走目指す

ボーイスカウト守山第1団の子どもら約30人が、市役所を出発して2泊3日のビワイチに挑戦しました。新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続き3年ぶりの開催となりました。出発式で仲間と助け合うことや完走することを誓い合った後、それぞれ愛車にまたがって出発。元気いっばいにペダルをこいで湖岸に向かいました。

〔4月29日〕 びわ湖岸など



## 守山市の人口

令和4年4月30日現在  
(前月比)

人口 85,216 (+ 109)

男 41,950 (+ 80)

女 43,266 (+ 29)

世帯数 34,134 (+ 117)

田舎住まいの通勤途中に、力に聞こえ、エルのかま。やかましいほどゴゴゴと景気よく歌い続けている。田んぼから田んぼに移動して道路を横断、車のライトに突然カエルが映るホラーな出来事も、季節の風物詩▼田園地帯を抜けて、幹線道路沿いを走っている、コンビ二やマンションの風景の中に、時折小さな畑で咲く野菜の花を見る。ほどよい田舎、ほどよい都会と、人のいう近江路の醍醐味であろうか。昼の長い晩春から初秋までの秘密の楽しみ▼早めに到着してのんびりうたた寝をする駐車場は、市街地に飛ぶホテルが生息する河川に近い。そろそろ川辺のホテルと市民の「ほたる自慢」のムシが、むずむずしはじめるころ。放流された幼虫の飛翔に加えて、「自然発生しているかも」と、うれしい水辺のうわさが守山市民の楽しみである。(あ)



田舎住まいの通勤途中に、力に聞こえ、エルのかま。やかましいほどゴゴゴと景気よく歌い続けている。田んぼから田んぼに移動して道路を横断、車のライトに突然カエルが映るホラーな出来事も、季節の風物詩▼田園地帯を抜けて、幹線道路沿いを走っている、コンビ二やマンションの風景の中に、時折小さな畑で咲く野菜の花を見る。ほどよい田舎、ほどよい都会と、人のいう近江路の醍醐味であろうか。昼の長い晩春から初秋までの秘密の楽しみ▼早めに到着してのんびりうたた寝をする駐車場は、市街地に飛ぶホテルが生息する河川に近い。そろそろ川辺のホテルと市民の「ほたる自慢」のムシが、むずむずしはじめるころ。放流された幼虫の飛翔に加えて、「自然発生しているかも」と、うれしい水辺のうわさが守山市民の楽しみである。(あ)